

会 議 記 録

会議名 決算特別委員会総務分科会

開催日 令和4年9月5日（月） 開会 午前10時30分

閉会 午前11時36分

出席者 委 員 分科会長 小久保 かおる

森 戸 雅 孝 大 浦 兼 政 氏 家 晃

福 富 善 明 福 田 裕 司

議 長 中 島 克 訓

傍 聴 者 川 田 俊 介 小太刀 孝 之 市 村 隆

雨 宮 茂 樹 浅 野 貴 之 小 平 啓 佑

針 谷 育 造 古 沢 ちい子 大 谷 好 一

内 海 まさかず 青 木 一 男 梅 澤 米 満

針 谷 正 夫 広 瀬 義 明 大阿久 岩 人

小 堀 良 江 白 石 幹 男 関 口 孫一郎

事務局職員 事務局長 白 井 一 之 議事課長 森 下 義 浩

副 主 幹 岩 崎 和 隆 主 事 齊 藤 千 明

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

総合政策部長	癸生川	亘
危機管理監	間中	正幸
経営管理部長	大野	和久
地域振興部長	永島	勝
地域振興部参事	飯島	正則
地域振興部参事	佐藤	義美
会計管理者	石川	交子
消防長	上岡	健司
監査委員事務局長	毛塚	加奈子
総合政策課長	押山	好孝
総合政策課スポーツ連携室長	小林	博己
秘書課長	小川	稔
広報課長	茅原	節子
行財政改革推進課長	狐塚	光紀
デジタル推進課長	須見	誠
危機管理課長	高久	一典
国体推進課長	大豆生田	雅志
総務課副主幹兼 行政管理係長	中島	佐代子
総務課課長補佐兼 文書法規係長	佐藤	優
職員課長	渡邊	浩志
契約検査課長	高橋	宏樹
管財課長	清水	孝之
財政課長	熊倉	宜和
税務課長	奈良部	和紀
税務課主幹	山岸	良郎
収税課長	茅原	洋一
地域振興部副部長兼 地域政策課長	高野	義宏
大平地域づくり推進課長	小島	清
大平地域づくり推進課主幹	小林	喜美江
藤岡地域づくり推進課長	海老沼	博行

藤岡地域づくり推進課主幹	久	村	順	利
都賀地域づくり推進課長	川	又	俊	行
都賀地域づくり推進課主幹	茂	木	紀	子
西方地域づくり推進課長	中	田	治	彦
西方地域づくり推進課主幹	牧	野	知	之
岩舟地域づくり推進課長	堀	江	克	実
岩舟地域づくり推進課主幹	飯	島	洋	子
蔵の街課長	佐	藤	啓	子
市民スポーツ課長	上	岡		豊
渡良瀬遊水地課長	山	野井	広	実
消防総務課長	小	川	信	幸
消防総務課主幹	中	村		聡
予防課長	栗	田		誠
警防課長	本	名	義	人
通信指令課長	小	高	照	明
副署長兼消防第1課長	中	山	全	良
副署長兼消防第2課長	田	村	秀	彦
選挙管理委員会事務局次長	潮	田	美	紀
監査委員事務局次長	瀬	下	佳	子
議事課長	森	下	義	浩

令和4年第5回栃木市議会定例会
決算特別委員会総務分科会議事日程

令和4年9月5日 総務常任委員会終了後 全員協議会室
日程第1 認定第1号 令和3年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について（所管関係部分）

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（小久保かおる君） ただいまの出席委員は6名で、定足数に達しております。
ただいまから決算特別委員会総務分科会を開会いたします。

（午前10時30分）

◎諸報告

○分科会長（小久保かおる君） 当分科会に送付された案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○分科会長（小久保かおる君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎認定第1号の上程、質疑

○分科会長（小久保かおる君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、認定第1号 令和3年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分を議題といたします。

なお、本決算に対する説明は8月26日に開催された決算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付をもって済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については9月21日水曜日に開催される全体会において実施いたしますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案につきましては、各部所管ごとに歳入歳出等を一括して審査したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小久保かおる君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際しましては、担当課長のみならず質疑の内容によりましては担当部長等にご答弁いただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、質疑に際しては一問一答の方法により、ページ数もお知らせをお願いいたします。

まず、総合政策部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の総合政策部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑ございませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） まず、歳入のところで質問したいと思います。ページは119ページ、下から5行目かな、栃木県の警察街頭防犯カメラ設置補助金ということで200万円ほど計上しているわけですが、これの設置目的、また設置場所、設置台数についてお伺いいたします。

○分科会長（小久保かおる君） 大豆生田国体推進課長。

○国体推進課長（大豆生田雅志君） お答え申し上げます。

本案件につきましては、栃木県警より防犯に関して国体を前にして警備強化のために設置してほしいというようお願いをいただいたものでございまして、合計10台ほど設置してございます。

設置場所ですけれども、国体の会場周辺並びに国体の際利用が想定されるような幹線道路などということになってございまして、具体的な場所を申し上げます。北から申し上げますけれども、まず関東ホーチキにしかた体育館の入り口のところの県道から総合文化体育館に入るところの交差点が1か所、次に総合運動公園、こちらはマルワ・アリーナとちぎが会場になっておりますけれども、総合運動公園周辺で南側駐車場の入り口、東側駐車場の入り口、西側駐車場の入り口、ここに合計3台になります。また、駅前庁舎の付近ということで、現在国体推進課が入っております駅前庁舎の前の交差点に1台、それから山車会館の前の大通り方面に向けて、山車会館から1台、続きまして、あじさい坂の駐車場、これは國學院栃木が会場になっておりますので、あじさい坂の駐車場に向けて1台、続きまして、大平地域で大平公民館の前の道路に1台、大平総合支所交差点に1台、それから藤岡地域ハートランド城に1台、前の道路になりますけれども、そこに1台ということで、合計8か所で10台ということになります。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 了解しました。これは、主目的としては国体の準備のためということなのですが、当然終わったから外すとかというのではなくて、継続的に使うという認識でよろしいのですね。

○分科会長（小久保かおる君） 大豆生田国体推進課長。

○国体推進課長（大豆生田雅志君） 県の補助のほうも最低5年間は使ってくださいということになっておりますので、最低でも5年間、必要があればその後も管理をしながら長期間使うことになるかというふうに考えてございます。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はありませんか。

大浦委員。

○委員（大浦兼政君） 163ページ、オリパラ観戦ツアー参加者負担金等で地域おこし協力隊の居住借りに伴う解約精算金というのが、この項目と私が想像ができないもので、ご説明をお願いいたします。

○分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。

○総合政策課長（押山好孝君） 雑入で項目が地域おこし、オリパラということになっているのですが、実際のところは地域おこし協力隊の総合政策課の雑入ということで、協力隊の住居の借上料の解約に伴う精算金ということでございます。

○分科会長（小久保かおる君） 大浦委員。

○委員（大浦兼政君） もしこのオリパラ観戦ツアーというものがなかった場合は、ここの説明欄は通常であればどの項目に普通はなるのでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。

○総合政策課長（押山好孝君） この項目名につきましては、財政課のほうとも協議をして、どんな形、総合政策課としていろんな雑入があったものをそこの一つのところに入れるということになりますので、その都度その名称が必要なものがあればということで変更にはなると思います。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 同じく163ページになります。危機管理課さんになると思うのですが、防災ラジオ、販売収入等ということで、95台に対してこのような金額になっているわけですが、これ質問というよりちょっと要望になるのですが、一部でまだ防災ラジオで難視聴地域があるというのを私何件か聞いているのです。希望があって売るのは当然悪いことではないのですが、買っても聞こえないってなってしまうとあれなので、その辺押さえておいていただければということでよろしくお願ひしたいと思います。これは要望になります。

○分科会長（小久保かおる君） 要望でよろしいですね。

○委員（福田裕司君） それ所管課って把握されていますでしょうか。そういう難視聴地域についての情報というのはつかんでいますでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） すみません。正直言いまして、そこら辺の調査等々も含めて現状把握はしていないのが実情です。ただ、要望があれば、その都度現地に確認という形を現在取っておるところです。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 今度は187ページ、これは主要事務事業にも入っているのですが、シティプロモーションの事業費ということで91万5,000円かな、決算額が。内容的にはフルーツスイーツのコンテスト、イベントなんかをやったよということなのですが、これをやったことによる成果に対するご見解と、次年度へも続けるのかというところをちょっとお聞きしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 茅原広報課長。

○広報課長（茅原節子君） お答え申し上げます。

次年度、令和3年度にフルーツスイーツコンテストを開催いたしまして、フルーツのスイーツを青果店から応募したりとか、フルーツフォトコンテストですとか、フルーツ検定などいろんな取組をさせていただきました。現在、フルーツPR冊子の作成ということで、2万部作成したものでスタンプラリーを行っております。これは、フルーツスイーツコンテストに応募いただいたスイーツを食べ歩いていただいて、そちらでスタンプを集めてもらって商品をお渡しするということであります。イチゴの時期までやるので、まだ期間がもう少し長いので、どれぐらい効果がというのはまだちょっと計れていない部分はあるのですが、やっぱりフルーツに関する問合せですとか、フルーツ食べたいとか、フルーツ狩りしてみたいのだけれどもという問合せのほうは、着実に少しずつ増えてきていると思いますので、今後とも何らかの形でフルーツのPRは続けていきたいと考えております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はありませんか。

森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 今の福田委員の質問と同じシティプロモーション事業、今の件なのですけれども、これは主要事務事業の中で説明を受けているわけなのですけれども、決算額を見ると前年度決算が365万円で今年度が91万5,000円、随分決算額に開きがあるのですけれども、今回の令和3年度の決算について、前年度から比べて随分プロモーション自体が縮小したような事業内容ということでよろしいのでしょうか。金額に、決算額に随分開きがあるものですから、その辺のところちょっと理由をお聞かせいただければと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 茅原広報課長。

○広報課長（茅原節子君） 一番の原因は、昨年度まで栃木市シティプロモーション冊子「aru」というものを作っておりまして、市内の事業者等にお配りして、そちらで見ていただいくという取組をしておりました。そちらが税抜きで127万円ほど使っておりまして、1冊1,000円以上のものをお配りしていたような状況になります。確かにすごく評判がよくて、お店などで冊子を見て市内回ってみようというご意見もいただいたのですけれども、やっぱり金額的にちょっと高いので、例えばSNS等を活用してもっと費用を使わずに簡単にできることはないかというところで模索している最中でありまして。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 319ページ、部屋南部地区指定緊急避難場所整備事業費の中に建築工事費が入っているのですけれども、その中で防災倉庫の主要事務事業の中に入っているのですけれども、防災倉庫の中身というか、どんなものを倉庫の中に入れるのでしょうか。ちょっとお答えお願いい

たします。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） その防災倉庫の中には、今年度に資機材を購入する予定で動いているのですけれども、救命ボート、ライフジャケット、LED照明機器、あとは発電機などを想定しております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 防災倉庫、今答弁がございましたけれども、この機材の納入は完成しているのですか。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） 今年度予算を計上しておりまして、購入済みであります。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 私、そこの地域を車でまわりますと、避難所の開放というのがちょっと見受けられないような気がするのですけれども、今後9月、10月、11月の災害について、この避難所の体制づくりというのはどんなことを考えていらっしゃいますか。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） 現在、今度の9日に国、利根川上流河川事務所の完了検査を予定になっております。それ以降、あまり長くない期間を考えておりまして、供用開始のほうを準備していきたいというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 今朗報の話を聞かせていただいたのですけれども、今後地域の方にこの南部避難所の活用についてある程度説明ないしお披露目をしたほうがいいかなと思うのですけれども、そのような考えについてご確認をさせていただきます。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） 今のご質問についてなのですが、一応地域の皆様につきましてはチラシ等を含めてというか、チラシなどを供用開始のお知らせをしたいというふうに思っております。できれば地域の方にも一応ご説明会というのを開催したいというふうに考えているところです。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 私の提案なのですけれども、書面上では使用の仕方が周知できないかなと思うので、災害時の有効活用するには、やはりそこら辺のところを考えていただくかなと思うのです。

けれども、その有効活用の強力な考えについてお伺いいたします。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） 有効活用につきましては、避難所としての避難をしていただくということも含めて、一応地域の皆様には説明会等を含めてその中でお話しできればというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 187ページ、コミュニティFM事業費なのですが、先ほどの決算とちょっと一緒になってしまって分からなかったのですけれども、ここの主な内容ということで自家発電装置の修繕で44万6,000円何がしということになっているのですが、さっき何か放送機器がどうのこうのというのがあったのですけれども、それとはまた別というお考えというか、内容でよろしいのでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） 一応工事とそれは別のものになります。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） そうしますと、これは突発的に壊れたということによろしいのですか。ちょっと気になるのがその下に保守点検業務委託料ということで85万7,000円計上しているのです。だから、保守点検や整備しているのではないかなと私は思うのですけれども、このところちょっと確認したいのですが。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） 委員おっしゃるとおり、保守点検は定期的にやっております。加えて、その保守点検の中で不具合等が発見されるというのですか、そういった状況であれば別途修繕をしていかなくてもならないというふうにも考えております。ですので、保守点検イコール修繕ということではなくて、保守点検は機器の状況を確認するということの一つ前提として、そこで原因というのですか、不具合が生じそうだとか、生じているので、修繕のほうをとという形になれば、もちろん修繕費を充てて修繕していきたいというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） そうしますと、今回のこの修繕については、保守点検で見つかったのではなくて、偶発的に発生したという捉え方でよろしいのですね。

○分科会長（小久保かおる君） 高久危機管理課長。

○危機管理課長（高久一典君） そうということだろうとっております。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） では、別な質問をさせていただきます。

191ページ、ふるさと応援寄附事業について質問させていただきます。まず、返礼品の種類と品目についてお伺いいたします。

○分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。

○総合政策課長（押山好孝君） お答えいたします。

返礼品につきましては、地場産品でありますお酒とかイチゴ、ブドウなど、全体で今のところ約900品を登録しているという状況でございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） それで、ちょっと分からなかったのが、返礼品の調達額というのは、たしか私の記憶では寄附額の30%以下にしないという指示があると思うのですが、単純に寄附金額819万円何がして返礼品代が315万円何がして、これを割り算すると38.48%なのです。30%を超えてしまっているのですけれども、ここのところについてちょっとご答弁をお願いしたいなと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。

○総合政策課長（押山好孝君） 返礼品につきましては、おおむね30%以内ということになっております。その間、返礼品の発送とかの事務手数料等々ございます。寄附額の半分、50%以内に収めると、その事務経費、その間に入っている業者、ポータルサイトもございましたので、そういったところに係る経費というのが50%以内という……

○委員（福田裕司君） 経費分ね。

○総合政策課長（押山好孝君） はい。ということでございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） あともう一点、寄附の割合なのですが、市内と市外の比率というのはどれぐらいになっていきますでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。

○総合政策課長（押山好孝君） 寄附額の市内と市外ということ、当然市外の方のほうが多い状態です。

○委員（福田裕司君） 割合は分からない。

○総合政策課長（押山好孝君） すみません、細かい数字はちょっと手元にないのですが。

○委員（福田裕司君） 圧倒的に市外のほうが多いということで。

○総合政策課長（押山好孝君） そうです。そう認識しております。

○分科会長（小久保かおる君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） ただいまの福田委員の質疑の関連でございます。事業費全体が4億四百何万円、入ってきたのが8億千九百何万円、この差額の4億1,533万310円が本市の税収として純増になった分というふうに考えてよろしいですか。

- 分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。
- 総合政策課長（押山好孝君） おっしゃるとおりでございます。
- 分科会長（小久保かおる君） 氏家委員。
- 委員（氏家 晃君） それと、事業費、これ主要事務事業で出ているわけなのですけれども、インターネットシステムの利用料、これが8億円のふるさと納税を集めるのに8,000万円ぐらいかかっているというところがございますが、これはさとふるとか、そういったサイトの利用料というふうにご考えてよろしいのでしょうか。
- 分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。
- 総合政策課長（押山好孝君） 幾つかのポータルサイトございます。さとふるとか楽天とか、そういった幾つかのサイトの利用料ということでございます。
- 分科会長（小久保かおる君） 氏家委員。
- 委員（氏家 晃君） そうしますと、具体的に幾つのサイトの利用料なのかお教えいただきたいと思えます。
- 分科会長（小久保かおる君） 押山総合政策課長。
- 総合政策課長（押山好孝君） 個別にはちょっと今手元に資料がないものですから、後でご報告をさせていただきます。
- 分科会長（小久保かおる君） 福富委員。
- 委員（福富善明君） 191ページ、プロスポーツ連携事業の中について質問させていただきます。渡良瀬サイクルパークの消耗品及び訴訟費等が主なものって書いてあるのですけれども、消耗品費と訴訟費の内容についてお伺いをいたします。
- 分科会長（小久保かおる君） 小林スポーツ連携室長。
- 総合政策課スポーツ連携室長（小林博己君） お答え申し上げます。
- 消耗品の額が13万3,500円、それで弁護士費用の着手金で一般質問でも答弁させていただいたとおり、第一審の訴訟の着手金で27万5,000円、それと控訴審の訴訟の委任契約着手金で220万円ということになっております。
- 以上です。
- 分科会長（小久保かおる君） 福富委員。
- 委員（福富善明君） 訴訟の内容というか、ちょっと教えていただければと思うのですけれども。
- 分科会長（小久保かおる君） 小林スポーツ連携室長。
- 総合政策課スポーツ連携室長（小林博己君） 訴訟の内容につきましては、このたびサッカー専用スタジアムの件で住民訴訟をいただいている件で払っている金額となります。
- 以上です。
- 分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 今、渡良瀬サイクルパークのお話が出たので、193ページ、渡良瀬サイクルパークの整備事業費ということで、これについては地方創生の拠点整備交付金を活用した事業であって、4月の29日にオープニングイベントがありました。私も参加させていただきました。それについて、その後、今現在の使用状況についてお伺いしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 小林スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（小林博己君） お答えを申し上げます。

委員のほうから今お話あったとおり、4月29日にオープンを迎えまして、その後順調に使用のほう推移しておりまして、5月、6月、7月と月平均で約900人ぐらいの方が来場いただいております。ただ、これはどうしてもうちのほうで把握している数字になりますので、ただ利用されている方もそのほか大勢いるという認識はしております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 900人ということで今お聞きしまして、ちょっとほっとしたかなと。費用対効果も含めまして、やはり継続的に増やしていくべきではないかなと私は思うところでございまして、利用料なんかの今後検討なんかはどうなのでしょう。

○分科会長（小久保かおる君） 小林スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（小林博己君） お答え申し上げます。

今度サイクルパークにつきましては、有料公園施設というようになることで今手続を進めておりまして、公園緑地課のほうと今協議をしております。基本的には今のスタンスですと、個人の利用については無償でいただいて、団体の方が午前とか午後、専用して使う場合に利用料をいただくという形で検討を進めております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 渡良瀬サイクルパークについてちょっと質問させていただくのですけれども、年間、今まで900人来場者がいたということなのですけれども、行きますとテントの下で管理人の方が管理しているということになりますと、やはりサイクルパークも、あとBMXですか、そちらのほうも危険性がある程度あるかなと思うのですけれども、今後管理することについて、管理棟を追加していただければと思うのですけれども。

○分科会長（小久保かおる君） 小林スポーツ連携室長。

○総合政策課スポーツ連携室長（小林博己君） 渡良瀬サイクルパークの管理のことについて少しご説明をさせていただきます。

8月まで一応常駐をしていただいて管理をする方法を取っていたのですけれども、今そういった管理を含めて調査をやっているということをお知らせいたしますけれども、9月からカメラ

をちょっと入れさせていただいて、そこを見ていただいて、1時間ごとに周回して状況を確認するというようなことを試行的に今行い始めたところでございます。今後も管理方法については、今後いろんな形のもものが想定されると思いますので、そういったものを逐一検討してまいりたいと思っております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小久保かおる君） ないようですので、総合政策部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願います。

〔執行部退席〕

○分科会長（小久保かおる君） 次に、経営管理部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の経営管理部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はありませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 歳入の部分になります。141ページ、管財課さんのほうになると思うのですが、不用品の売払収入ということで758万円ちょっとあると思うのですが、この内容を見ますと、不用となった公用車等のインターネット公売による売払ということになっておりますが、実際の内容についてちょっとお聞きしたい。どういうものを売ったのかというところをお聞きしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 清水管財課長。

○管財課長（清水孝之君） お答え申し上げます。

不用品としては、一番大きいのが消防車が13台ほどオークションで売り払うことができました。

これにつきましては、消防団の再編等で不用になってきました消防車等についてオークション等で処分させていただいたということでございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 13台、理解しました。

逆にオークションにかけて売れなかったというのもあるのでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 清水管財課長。

○管財課長（清水孝之君） 私の知る限りでは、売れなかったということはなかったかと思っております。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 歳入の部分で73ページですか、交通安全対策特別交付金ということで、内容を読むと道路交通法の反則金を原資として交付されるものとあるのです。この交付率と県内の違反者を対象としているのか、その辺のところをお聞かせください。

○分科会長（小久保かおる君） 熊倉財政課長。

○財政課長（熊倉宜和君） お答え申し上げます。

交通安全対策特別交付金につきましては、委員申し上げるとおり、道路交通法による反則金を原資として市町村の交通安全施設整備のために交付されるもので、交通事故の発生件数や人口集中地区の人口、改良済みの道路の延長等に応じて交付されるものでございます。交付率がこちらは10分の7だったと思うのですが、そちらちょっと確認してお知らせします。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） そうすると、今の交付率は後でご確認をお願いいたします。

それと、先ほど言った質問の中で、対象とするのは県内で発生した反則金とか、そういったエリアというのは、これ全国ということではないかと思うのですけれども、県内での発生した、そういった違反したというくくりでよろしいのか。

○分科会長（小久保かおる君） 熊倉財政課長。

○財政課長（熊倉宜和君） そのとおりでございます。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 今度歳出のほうでご質問します。183ページ、職員課さんのほうになると思うのですが、職員の福利厚生事業費ということで、健康診断ですとか各種がん検診等に係る職員健康診断、あとメンタルヘルスというのがあるのですが、この対象人数についてお聞きしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 渡邊職員課長。

○職員課長（渡邊浩志君） 全職員が対象となりますので、1,294人になります。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） あと、メンタルヘルスというのもやられていると思うのですが、これ所感になってしまうかもしれないのですけれども、その効果に対しての所感についてお伺いしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 渡邊職員課長。

○職員課長（渡邊浩志君） メンタルヘルス、非常に難しい問題でございまして、日頃から私どもも注意をして職員のほうを見ているわけなのですけれども、なかなか対応が難しいというところでご

ございます。例えば休んでいる方なのですけれども、令和3年度でいいますと、計25名心を病んで休まして、男性が19名、女性が6名ということでございます。以前ですと、年配、係長級とか筆頭主査級が多かったのですが、最近はちょっと若い方に見られるようになってきてまして、ちょっと心配をしているところでございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） やられているので、なるべくそういう方を少なくするようにご努力お願いしたいなというふうに思います。

続けていいですか。

○分科会長（小久保かおる君） はい。

○委員（福田裕司君） 続けまして、185ページの職員の作業服貸与事業費ということなのですが、この内容については書かれているとおりだと思うのですが、貸与している人数がまずお聞きしたいのと、所管課だったら最初に貸与されるのではないかななんて私自身は思っているのですけれども、その貸与人数まず教えてください。

○分科会長（小久保かおる君） 渡邊職員課長。

○職員課長（渡邊浩志君） お答え申し上げます。

現在の貸与人数が662名でございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） では、その貸与する根拠についてお伺いしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 渡邊職員課長。

○職員課長（渡邊浩志君） お答え申し上げます。

貸与する範囲になりますが、例えば現場のあるところ、例えば土木系とか経済系とか、そういうところでありましたり、あとは防災関係、農林関係というところが主になっております。

以上でございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） では、違った質問をさせていただきます。189ページ、自動車の管理費、管財課さんになるのかな、ここでは内容的には共用車、専用車の自動車の損害共済、保険料ということで記載されておるのですが、車の台数についてなのですが、これ随分前に私も一般質問やっているので、適正配置の観点から、昨年比で車自体、公用車、何か変化あるのかなのかというのをちょっとお聞きしたいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） 清水管財課長。

○管財課長（清水孝之君） お答え申し上げます。

現在、390台分の任意保険料を支払っておりまして、昨年度が403台分出ます。この結果、13台分共用車が減らすことができたということになります。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） あわせて、乗用車なんかは2025年までに全てもうガソリン車とかディーゼル車作りませんので、もう電気自動車に替わるので、その辺も併せて交換時期とか、そういうのも検討していただきたいと、これは要望になります。よろしくお願いします。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

熊倉財政課長。

○財政課長（熊倉宜和君） 先ほど質問のありました交通安全対策特別交付金の交付の形なのですが、交通反則金等の収入から通告書等の支出相当額を控除した額を交付するという形になっていきますので、率ではなく、そういった歳入に基づいて交付されるような形になっております。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） そうすると、反則金で入ってきた、そして事務経費を差し引いたその残りをそっくり来るということですか。

○分科会長（小久保かおる君） 熊倉財政課長。

○財政課長（熊倉宜和君） そのとおりでございます、先ほど申しました交通発生件数や人口集中地区の人口、改良道路等の延長を配分指標として、それで算定して交付されるものになっております。

以上でございます。

○分科会長（小久保かおる君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 185ページ、会計年度任用職員ということで、検査監報酬ということで152万280円入っているのですが、この方についてはどのような方が検査監をやっているのでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 高橋契約検査課長。

○契約検査課長（高橋宏樹君） お答え申し上げます。

昨年度の検査監につきましては、会計年度任用職員ということで部長級で技術系の職員で退職された方を任用しておりました。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小久保かおる君） ないようですので、経営管理部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（小久保かおる君） ここで執行部から発言の申出がありますので、お聞き取りください。

押山総合政策課長。

○総合政策課長（押山好孝君） 先ほど総合政策部の中で氏家委員よりご質問のありました、使用しているポータルサイトの数でございます。内訳でございます。申し上げます。ふるさとチョイス、楽天、さとふる、ふるなび、ANA、全日空でございます。以上の5社でございます。

以上でございます。

○分科会長（小久保かおる君） 次に、地域振興部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の地域振興部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑ございませんでしょうか。

森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 歳出の199ページで、これは主要事務事業ということで説明は受けているのですけれども、この定住促進支援事業費について、これは決算額が令和3年度が9,534万9,602円ということで、それを前年度と比較すると、前年度が1億4,900万円が決算なのです。今回令和3年度の決算額、随分決算額が落ち込んだ数字になっているのですけれども、この事業については落ち込んだ理由と、本市が少し競争が過渡になって落ち込んでしまったのか、その辺のところのちょっと理由をお聞かせいただければと思うのですけれども。

○分科会長（小久保かおる君） 高野地域政策課長。

○地域振興部副部長兼地域政策課長（高野義宏君） お答え申し上げます。

委員おっしゃるとおり、年々このところ減ってきておる状況でございます。これは、事情といたしましては、移住定住の絶対数とか、そういった需要がないわけではなくて、実はこちらのメインとなるところが住宅の建築、そういったところに伴うもの、もちろん中古住宅に入られるという場合もあるのですが、住宅の建築が実は世界的な半導体不足、それからウッドショックという資材のほうの要因によりまして、建てたくても建てられない。あとあわせまして、令和2年度ぐらいまではまだコロナの影響が比較的少なかったところなのですが、令和3年度、また今年度からは完全にその辺のところの経済的な状況も受けておりまして、やはり移住定住の方が少ないために、予算はきちんと確保しておったところですが、執行額が減ってきているというような状況でございます。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） それと、今のお話ですと、やはり新築事業のそういった外的要因ということで、なかなか資材の調達がということで、そういったことが今回これだけの減額になったと

というようなことで、こういった資材の調達ということでは非常に今世界的な問題でありますけれども、ではそういうことで了解いたしました。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑ございませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 193ページになります。西方の総合支所庁舎の管理費ということで、これにつきましては北部健康福祉センターの電気料というのはかなり突出しているなという印象を受けるのですが、ほかの総合支所と比べても、規模の割にすごく突出しているという感じがするのですが、やっぱり北部健康福祉センターが主なところというところによろしいのでしょうか。

○分科会長（小久保かおる君） 中田西方地域づくり推進課長。

○西方地域づくり推進課長（中田治彦君） 委員おっしゃるとおり、北部健康福祉センターの電気料が主なものになっておりまして、電気料の合計が1,119万932円です。西方総合支所の分が280万8,116円、ゆったり～な、北部健康福祉センター分が753万3,105円、それから旧保健センター分の電気料が77万8,711円となっております。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 分かりました。そうすると、やっぱりゆったり～なのところで結構あれしているのだなというのは理解したところなのですが、ちなみにこのゆったり～なの利用状況というのをちょっとお聞かせ願います。

○分科会長（小久保かおる君） 中田西方地域づくり推進課長。

○西方地域づくり推進課長（中田治彦君） ゆったり～なのほうは、やはりコロナの影響でまだ満足な運営はできていないかと思いますが、詳細につきましては所管が健康増進課になりますので、私の方ではちょっと把握しておりません。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） といいますと、やっぱりこの電気代というのがもう分かっているわけですね、ここにかかっているというのを。だから、省エネも含めまして、そういう検討もぜひしていただきたいなというところなのです。あとは、費用対効果の面からしまして、利用状況とか、今コロナというお話出ましたけれども、例えば稼働日を減らすとか、そういったこともやっぱりこういうところに考えられるのではないかなと思うのですけれども、サービスが低下するというのも併せて分かるところなのですが、ここがやっぱり突出しているところなので、今後検討していただければというふうに要望したいと思います。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑ございませんか。

すみません。中田西方地域づくり推進課長。

○西方地域づくり推進課長（中田治彦君） 今のご要望なのですが、所管が健康増進課になりますので、ちょっと私どものほうではお答えできないと。

○分科会長（小久保かおる君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） では、今ここでお伝えしましたので、同じ庁舎の中にいるので、お話ししていただければというふうに思います。よろしくお願いします。

○分科会長（小久保かおる君） 森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 歳出の207ページなのですけれども、公民館感染症対策事業費ということで、検温測定器購入費ということで主な内容ということで記載があります。これは、サーモグラフィカメラというような設置内容と、あとそれぞれの公民館には、全部の公民館に例えば1台ずつとか、そういった台数についてちょっと確認させてください。

○分科会長（小久保かおる君） 高野地域政策課長。

○地域振興部副部長兼地域政策課長（高野義宏君） お答え申し上げます。

市内の全公民館のほうに設置いたしまして、市内の11公民館、各地域の公民館含めまして、先ほどお話ありましたとおり、体温を測る測定器のほうの設置をさせていただきました。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑ございませんか。

氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 202ページ、203ページ、遊水地キャラクター動画作成事業費ということで226万6,000円なのですが、これ何分ぐらいの動画になったのか、内容というのはなかなか言えないかと思うのですけれども、言葉にできないかと思うのですけれども、今現在どのように活用しているのかお伺いします。

○分科会長（小久保かおる君） 山野井渡良瀬遊水地課長。

○渡良瀬遊水地課長（山野井広実君） お答えいたします。

動画につきましては、3本作りまして、1本が2分から3分弱のものでございます。活用方法につきましては、その3本のアニメーションをDVDに焼いたというか、保存しまして、市内37の保育園に全てに配らせていただきまして、渡良瀬遊水地のPRを兼ねまして、渡良瀬遊水地はいいところだよということで周知を図っているところでございます。そのほか毎週金曜日に栃木ケーブルテレビさんを使いまして、放送をしているところでございます。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小久保かおる君） ないようですので、ここで執行部から発言の申出がありましたので、お聞き取りをお願いいたします。

渡邊職員課長。

○職員課長（渡邊浩志君） すみません、先ほど福田委員から健康診断にかかる人数のご質問がございまして、お答えとしまして職員数1,294名ということでお答えいたしました。実際には会計年

度の方、大体800人いらっしゃるのですが、そのうち健康保険に入っている方が600人ほどおりまして、その方も対象となりますので、約1,900名ということで発言を訂正させていただきます。よろしく願いいたします。

○分科会長（小久保かおる君） 地域振興部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまです。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願います。

〔執行部退席〕

○分科会長（小久保かおる君） 次に、消防本部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の消防本部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小久保かおる君） ないようですので、消防本部の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願います。

〔執行部退席〕

○分科会長（小久保かおる君） 次に、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の会計、議会、選管、監査を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はありませんか。

森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 歳出の223ページで、選挙啓発費ということで令和3年度18万8,300円ということで出ていますけれども、こういった啓発費として費用をかけているにもかかわらず、令和4年度の市長選、市議選では投票率が下がってしまったという非常に皮肉な結果になってしまったのですけれども、今回このポスターで集まった点数というのは何点ぐらい集まっていたのでしょうか。ちょっと確認させてください。

○分科会長（小久保かおる君） 潮田選挙管理委員会事務局次長。

○選挙管理委員会事務局次長（潮田美紀君） お答えいたします。

令和3年度ポスター募集につきましては、全部で340名の応募がございました。そのうち50点を選びまして、入選者ということで選出したところです。

以上です。

○分科会長（小久保かおる君） 森戸副委員長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 分かりました。340点ということで、小中学生だけですね、高校生はなしということで。にもかかわらず、啓発が功を奏さなかったということは、この4月の選挙、非常に残念な結果だということで、今後ともまたこういった啓発も積極的に進めて、少しでも投票率向上に向けて今後とも邁進していただければというふうに思います。最後要望です。よろしくお願いいたします。

○分科会長（小久保かおる君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小久保かおる君） ないようですので、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○分科会長（小久保かおる君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成については、正副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、9月21日水曜日午前10時から決算特別委員会全体会において分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして決算特別委員会総務分科会を閉会いたします。

大変にご苦労さまでした。

(午前11時36分)